

# 二中の木

学校報  
第14号  
H27/12/21

能代市立  
能代第二中学校  
TEL52-5138

平成二十七年年度・後期前半までを振り返る

## 二中生の「足跡」

### 四月・入学式

ともに目指そう！

### 自主・不屈・友愛

四月七日（火）に一〇八名の新入生を迎えました。あの時の緊張感はずいぶん胸に残っていますか。いい意味での緊張感を持ち続けていきたいですね。三年生も二年生もかなり前のことだけに、初心をお忘れず、です。



### 二・一中定期戦

青空に叫んだ！

### 笑顔・元気・友情

五月一日（金）の青い空をおぼえていますか。野球部員と一緒に白球の行くへを目で追い、時に歓喜の時に悔しがったあの日の青空です。あの時、目の前で試合をしているのは野球部員でしたが、二中生一人一人がマウンドに立ち、バッターボックスに入り、全速力で駆けている一瞬の体感を感じたあの日の青空です。あの日の空と皆さんは、まぶしかったです。



### 六月・全県予選

光る汗に感動！

### 躍動・歓喜・声援

六月十九日～二十一日（金～日）の三日に渡って熱戦が繰り広げられました。当日の戦いもさることながら、大会前の激励会も盛り上がりました。いつもながらの応援団の熱いエールには感謝です。今の歳になつてしみじみ感じるのは、指導してくれた先生やともに頑張ったチームメイト、家族への感謝の気持ちです。忘れずにね。



### 七、八月・夏休み

成し遂げる夏！

### 炎天・水声・朝顔

夏休み前に「命、健康を大切に」という話をしました。当たり前のことかもしれませんが、誰一人として大きな事故に遭ったり、ケガをしなかったりせずに夏休みを終えたことが、全員元気に顔をそろえられたことが、とてもうれしかったです。



### 夏休み明け・二中祭

無限の可能性！

### 歌声・情熱・責任

一、二年生は三年生から引き継いだ部活にける強い思いを、体からしたたり落ちる汗に変えて、新人戦に向けて頑張っていましたね。そうそう、そう言えば、NIEの全国大会での三年生の活躍も素晴らしいです。全国から集まった先生方、報道関係者からは授業を創り上げてい先生と二中生、二中生どうしの言葉のキャッチボールの温かさ、深さ、明るさに絶賛の声しきりでした。

八月二十日（日）は、忘れられない一日になりました。指揮者を見つめて一杯に歌う顔、顔、顔。セリフの一言一言に自分の思いをのせながら観客に語りかけたパフォーマンスの数々。クラスの赤べ



ナントにける並々ならぬ情熱は以前から言われている二中生の特長でもあります。保護者の方々活躍にも感謝申し上げます。保護者の合唱は、二中の歴史上初のこと。エンディングでの信田さん登場に、体育館が揺れましたね。





# 九月・おなごり

秋爽快！

## 地域・堂々・整然

九月十二日(土)には、おなごりフェスティバルでの「二中若」運行がありました。生徒会テーマ「有志有途」とは、地域を支える志を表したもので、地域との絆、地域への感謝の気持ちを二中若で表現してもらいたいとの激励に見事に応えてくれた二中生でした。地域を支えていくという情熱のままに、大いに盛り上がりを見せた二中若でした。そればかりではありません。フェスティバルの一員である、二中生の一員であるという、実に自らの心と行いを見事にコントロールしながらの参加でした。

熱いばかりが「中」ではない。目的がしっかりと共有できた集団の底知れない力を感じるとともに大きな感動を覚えたのでした。

# 十一月・総合

地域に根ざす！

## 職業・体験・文化

十月二十二日(木)には、総合的



な学習の時間で、一年生は能代青年会議所のご協力の下、地域を支える若き担い手と交流しながら職業についての講話を、二年生は各事業所を訪問しての職業体験を、三年生は地域の文化や伝統を支えている方々から実技実習を指導してもらいました。十一月十一日(水)は、全校発表会。体験を要領よくまとめ発表し、発表には質問や意見が学年の壁を越えて活発に出され盛り上がりました。

# 十二月・冬休みへ

冬にも鍛える！

## 自主・不屈・友愛

「夏休みの反省を生かしたいもの。」

### 冬に鍛える！

〇自主 学習には攻めの姿勢

〇不屈 自分を見つめる正しい目

〇友愛 全力投球の姿勢

※守りては気力は生まれぬ

※行動には慎重さを欠かさない

※限界の壁を押しやる努力

もぎ残す  
 実にも吹くのか  
 雪しまま、

秋多

車窓の風景を詠みました。線路わきの畑には、大根の黄色みを帯びた葉が見えます。柿の木も見えます。景色は流れていきます。引越す前の我が家にも柿の木があって、いつも一つだけ実をもぎ残していました。それは、「柿の実は全部もぎとってしまわずに、一つだけ残しておくものだ。」と、小さい頃に誰かに言われたことがあった気がするからです。曖昧な記憶です。

墨絵のように色を失った冬の景色の中に、柿の実の橙色だけが鮮やかに、色を放っています。吹きすさぶ雪をとまなつた強風が車窓に打ち付け、ことさらに寒さを覚えます。



今年は大勢の保護者、地域の方々のご支援により学校運営ができました。心より感謝申し上げます。

サルは賢さの象徴と言われています。来るべき新年が、受検に向けて奮闘中の皆さんの



んにとつて最高の年となるように支えていきます。フアイトです！

【終】